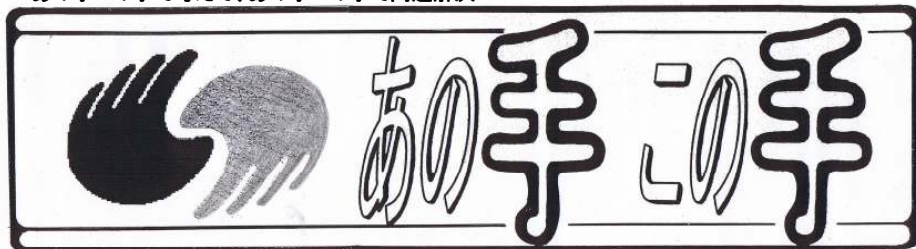


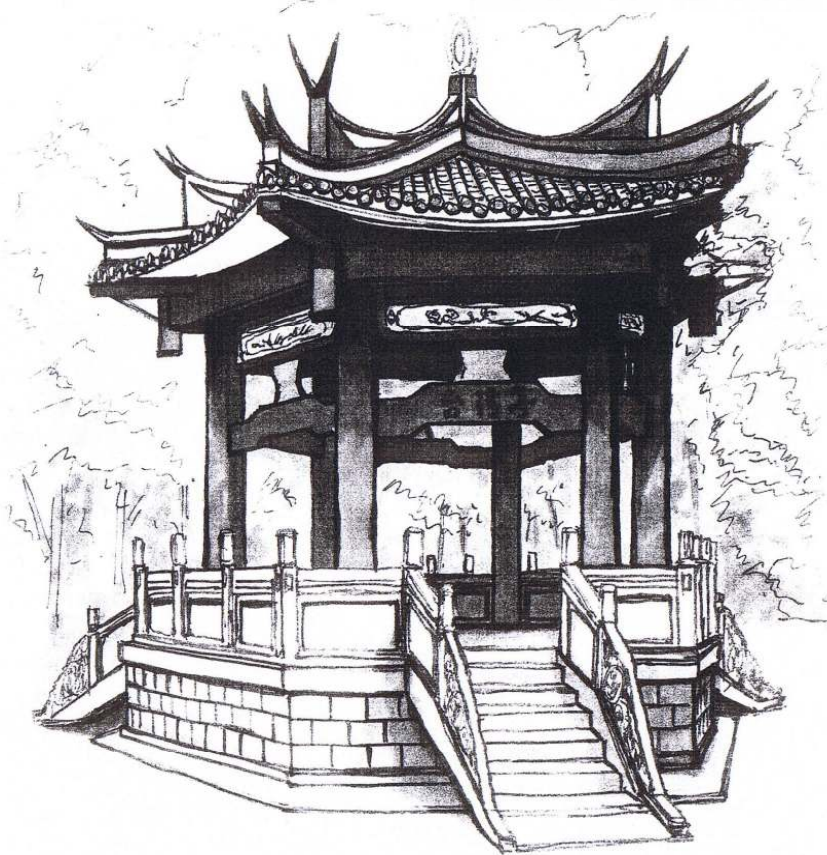


「センター」は“人”が宝だね。

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



大和市民活動センター[拠点やまと] 第24号 2009年1月15日発行



やまとの風景たち 4回シリーズ
第2回目 上草柳/台湾亭

ふれあいの森に、一目でそれが日本の建築意匠ではないと分かる、朱色鮮やかな東屋があります。

先の大戦中、さがみ野駅北側にあった高座海軍工廠(日本海軍の航空機生産工場)では、台湾から動員された10代の少年工、約8千人が働き、彼らの宿舎が上草柳にありました。

少年工達がこの地で働くことになった経緯や、戦中、戦後の彼らの生活に触れるスペースはここにはありませんが、この台湾亭と名付けられた東屋は、元少年工達が工費を出し合い、「第二の故郷の地に平和と友好のシンボルを」と建設し、1997年、大和市に寄贈されたものです。

絵と文=柴田 豊(大和市役所職員)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

明けましておめでとうございます。

今年(今年)は丑年。
時には牛歩のようなゆったりした時の流れの中で「共育(ともいく)」をキーワードに、つながりをつくっていく行動や思考を大切にしていきたいと思っています。多くの選択肢を切り捨ててしまうことのないように活動していきたいです。

[拠点やまと]は次年度もセンターを運営するために

協働事業提案をいたしました。

市民の視点、機動力でチャレンジしていきます。「こんな時」だからこそ、共生を志向する市民、市民活動団体、事業者の底力を見せていきましょう。

ご縁をいただいた皆さん、絆を深めた皆さん、これから出会うみなさん、今年もよろしく願いいたします。

[拠点やまと]会長 関根孝子

これからの共育マネジメントセミナー

第18回のテーマは

「今どきの高校生事情」

ゲストに濱谷美代子先生(柏木学園高等学校教師)をお招きして、高校生の今の姿をお聞きます。

日時:2月21日(土)10:00~12:00

第19回のテーマは

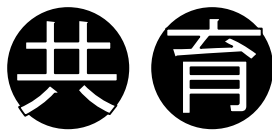
「やさしい日本語」

ゲストの樋口由美子さん(逗子災害ボランティアネットワーク)に 災害時に誰にでも分かりやすい情報を正しく伝えるコツを学びます。

日時:3月28日(土)10:00~12:00

<お送りのとき同封されているご案内>

・第18回共育マネジメントセミナー「今どきの高校生事情」のお知らせ



がキーワード

2009年はさらに共育をすすめ

若者が集う活気のあるセンターを目指します

デイサービスでこころの交流

1月10日(土)の午後、柏木学園高校の生徒9人がふたりの先生と市民活動センターのスタッフひとりの付き添いのもと、桜ヶ丘にある「まごころ地域福祉センター」でのデイサービスに参加。

初めてのボランティアに緊張の生徒もいましたが、フルートなどの楽器演奏で

♪ “見上げてごらん夜の星を” ♪

♪ “幸せなら手をたたこう” ♪

をみんなで歌って、お年寄りはおおいに華やぎました。

生徒が詩吟「偶成」を披露。「涙を流して喜んでくれたお年寄りがいたんだよ」と、うれしい報告をしてくれました。

さっそく、その感動を短歌に詠んで、とお願ひしたら、指を折りながら詠んでくれました。

市民活動センター集合、解散の活気ある午後のひとときでした。



これです

センターの みんなにほめられ よかったよ
 私の詩吟 通じたみたい(安妃子)
 午後三時 おやつ時間 楽しんだ
 みんなにモチモチ また行きたいな(茜)
 不安でも 全力出して 吟じたよ
 笑顔たくさん 勇気もらった(海)
 演奏で 失敗ばかり したけれど
 みんなの笑顔に 幸せもらった(美幸)
 「偶成」を 老人ホームで 吟じたよ
 客席笑顔 拍手たくさん(彩子)
 人生の 先輩たちに 関わった
 いつもとちがう 経験できた(由梨)
 浜ちゃんと呼ばれし先生 若き日に
 長距離恋愛 実らせた人(スタッフ)

* 高校生の力作



第17回の共育マネージメントセミナーは

中央林間や大和市の揺籃期から現在までを47のカルタの札に表現しました。絵も文字も市川さんの自作。カルタから大和市の姿が浮かびあがってきます。カルタを通して大和市を語るひととき。参加をお待ちしています。

とき: 1月24日(土) 10:00~12:00

ところ: 大和市民活動センター会議室

テーマ: 知れば知るほどおもしろい大和市 PART3

~加留多(カルタ)が教えてくれる大和市~

ゲスト: 市川 秀雄さん(中央林間・市川メガネ店主)

* 大和市に登録している外国人の数が約 6500 人

* 出身国は 69 カ国

* 大和市民の 34 人に1人が外国人

「知れば知るほどおもしろい大和市です PART2」

~みんなが知らない国際交流~

第16回共育マネージメントセミナーを12月20日(土)

10:00~12:00 に開催しました。

ゲストに「やまと国際フレンド委員会(IFC)」の長谷部美由紀さんをお招きして、活動を通して見えてきた大和市の外国籍の人のことをお話いただきました。

6500 人、

69 カ国、

大和市民の 34 人に 1 人って、
何かわかりますか？



外国人支援のための活動「にほんごではなそう！日本語スピーチ大会」や「やまと国際交流アートフェスタ」を開催したときのエピソードが話されました。

アートフェスタには外国籍児童・生徒の作品27点を含めて99点の応募があり、絵を通して交流が生まれ、エコキャップを持って来て投票するというユニークな参加方法で、入場者は約1,000人、エコキャップの回収は約10,000個で13人分のワクチンになり、社会貢献の輪が広がったとのことでした。

後半のワークショップでは、外国人てどんなイメージ？困ったなと思うこと、素敵だな~と思うこと。そして、69カ国もの人が住んでいる大和市中で、いろいろな国の人と共に生きるために必要なことは？ などを出し合いました。

その後の交流会でも自由な話し合いが持たれ、参加者の多様なものの見方や考え方を知り、理解を深め合いました。関係を断ち切るのではなく、関係性を紡ぎ出していく方法、登録団体との連携を考える機会にもなりました。

* IFCは International Friendship Committee の略

大和市民活動センター【ある日ある時】

12月20日(土)晴れ

いつもセンターに行く時に使っている自転車は、町内の女の子が置いていった思い出品？です。今はニューヨークで室内照明の仕事をしています。捨てちゃー悪いと思って、修理に出したら1万円取られました。また持ち主シールが東京登録(黄色)なので、今迄3回 お巡りさんに呼び止められました。1回は家の前で！(サポーター望月さんからのメール)

楽しくって、夢中で作った“くつした人形”

「わたしのこと、必要としないみたい！」思わずもれたひとこと

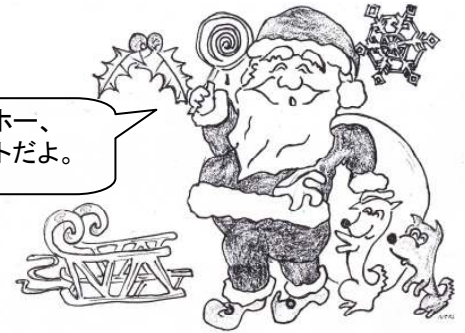
～サポートハウスワン・ピースの子どもたちのクリスマス会～

12月23日(火)、15組の親子が参加しました。

夏休みのかき氷イベントの後センターのスタッフの方と「クリスマス会はどうだろう」という話になりました。ワン・ピースでも子どもたちのためにクリスマス会を開きたいという思いはあったのですが、会場やボランティアの手配などが難しく開催できずにいました。

サンタさんが登場した時の「うわあ！」という子どもたちの驚きとうれしさの入り混じった表情、そして親御さんたちのくつろいだ様子。楽しいひと時をプレゼントすることができてよかったです。朝から準備してくださったセンタースタッフの皆さん、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

(NPO 法人サポートハウスワン・ピース 理事長 滝本美知留)



ホッホッホー、プレゼントだよ。

ではサンタクロースのサプライズで、とても喜んでいました。(B)

クリスマスケーキや、へびの人形作りなど、家族に楽しかったことを話していました。(C)

お子さんの顔は知っているもお母さんの顔は知らなかったので、親子いっしょというのはお知り合いになれる良い機会でした。(D)

みんなでつくったケーキだよ。

休みの日まで行事をしてくださるのは、とてもありがたいです。場所によって靴を脱いだり履いたりというのが、子どもにとってちょっと難しかったかなと思いました。(A)

作る楽しさや喜び、できあがった時の満足感に満ち溢れた子どもたちの顔を見ていると、私も我を忘れて参加してしまうほど楽しいイベントでした。サンタさんからのプレゼントが混雑してなかなかもらえないほどでした。来年のクリスマス会を楽しみにしています。(ワン・ピース スタッフ 佐久間恵子)



生クリームをしぼり出したんだ。

後半の遊びに入る区切りに見せていただいたねずみの人形の動きと歌を、集中してしっかり見ていたのが印象的でした。もう少し見ていたかったのではないかと思います。(E)

チョコレートもせたよ。



くつしたでつくった人形だよ。何に見える？

カエル？へび？

普段は障害のない子どもたちの中で遊ばせることに遠慮がちとのこと。一時も目を離せないお子さんもいて、お母さんの苦勞が伝わってきました。1週間にたった1日の放課後、「ワン・ピース」で過ごす時間が、家族にとっての貴重な時間だということがよくわかりました。

サンタさんをはじめ、たくさんボランティアさんのおかげで、ケガもなく無事に終了できてホッとしているのも事実です。この何とも言えない暖かな充足感は何？と自分に問うたら、喜んでくれる人がいるから、ということに気がつきました。

次回はお父さんもごいっしょにどうぞ。(スタッフのつぶやき)

屋根の上まで大掃除！

12月27日(土)の午後、市民活動課の課長を含めて4人の職員、サポーター2人の計6人が助っ人に駆けつけてくれて、大掃除が始まりました。

屋根の上の落ち葉は70リットルの袋に7つも集め、念願のアンテナも撤去でき、ホッとしました。

ガラス拭き、蛍光灯の掃除と例年の通りに手際よく行い、エアコンのフィルターを掃除したおかげで、温風が効率よく出てくるのを実感しました。

終わった後は、清々さと達成感にひたり、しばし歓談。

豆塚さんの心づくしの“おしるこ”のおいしかったこと！

登録団体の皆さま、2009年の大掃除は、ぜひ、ご一緒に！



「あの手この手」は大和市民活動センターのホームページでもご覧になれます。

トップページの「最新情報」をクリックし、その「広報紙あの手この手」をクリックすると、過去に発行した「あの手この手」も見ることができます。

URL: <http://park23.wakwak.com/~youkoso/>

*「大和市民活動センター」でも検索できます。



第54回 12/16(火)～マジカルバナナって知ってる?～

＜NPO 法人 地球の木＞

「世界で1番バナナを生産している国は?」「日本はどの国から1番バナナを輸入している?」などのクイズから始まり、最終的には世界の食料の8割を2割の国の人たちが食べている事実を知り、自分たちの暮らしについて考えるワークショップです。



自立のための支援活動についても話され、国際交流を学ぶ中学での出前講座では、ワークショップを通じて世界を見るよい機会になっていることがわかりました。

第55回 12/23(火)～川をよごさないで!～

＜引地川水とみどりの会「子どもエコくらぶ」＞

小学4、5、6年生の3人が出演。ビニール袋に入れられた犬の糞が川に捨てられている現実を知りました。子どもたちは足がしびれるほど冷たい水の中で、頑張ってゴミを拾っているのです。川の中での楽しみはボールを見つけたとき、なんてかわいいうことを言っていました。せつかくきれいになった引地川ですから、ずっときれいにしたいです。



ラジオを聴いたら感想を FAX、メールで[FMやまと]へ
FAX :046-265-2777
E-mail :morning@fmyamato.co.jp



F M
やまと
71.7
MHz

「やまとっこ☆みつけた」
毎週
(火)

9:05



9:25

a. m.

第56回 1/6(火)～獅子と太鼓のパフォーマンス～

＜中国獅子舞研究会「龍獅子会」＞

新年最初の出演が獅子舞グループとは何と縁起のよいことでしょう。太鼓のリズムに合わせて、カンパリーの動きで獅子舞をする。健康と平和を願っての龍獅子の演舞は、希望があればどこでも行きます。



第57回 1/13(火)～あらゆる外出の支援を～

＜NPO 法人 たんぽぽ＞

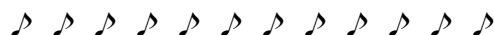
「車による外出介助サービス事業」を始めて3年。運転会員の7名が利用会員60名の要望にきめ細かく対応しています。利用者の方の負担が少しでも軽くなるよう、最初の入会金はいただきますが、年会費・月会費はなく、外出時の実費(ガソリン代)で運営しています。通院通学はもちろんお墓参り、趣味の集まり外食等の介助も行なっています。



*それぞれの団体へのお問い合わせは大和市民活動センターまで。

＜これからの出演団体＞

- 第58回 1/20(火) やまと国際フレンド委員会(IFC)
- 第59回 1/27(火) 柳橋一丁目柳和会
- 第60回 2/3(火) 大和おやこ劇場
- 第61回 2/10(火) 草柳自治会



”朗らかに”して、ひとりひとりが自立し、それぞれの絆を深めることで”ほがらかなセンター”でしたと思ひ返せる一年にしたい。(浅見正明)

車内広告でみた今年の私の運勢は「友情は喜びを2倍にする」。センターで友達の輪が広がっていることを実感しています。(関根孝子)

肉声や情報のいろんな“声”がいつでも「センター」に満ちていること。「やまとっこ☆みつけた」を経験できること。(小杉皓男)

センターに集う人々が大銀杏に見守られながら、共に育ち合い、時を刻んでいくこと…センターの福です。(中山みゆき)

熱血編集後記

センターにとって”福”とは…



今年もなかよく頑張ります。
by 七福神 プラス 2 助っ人

『福』は示(祭壇)に添えた?酒を満たした徳利です。私達サポーターも徳利を抱えて寄りたくなります。皆が何かあるかな?とセンターに寄せば福の輪が広がっていきます。(望月則男)

* 今号は、新しい年のスタートにあたり、心穏やかな1年を願って、「若草」色を用意しました。

丑年を”福””福”と過ごすには、適度な鬼が必要か…鬼編、鬼会長、鬼豆 他に必要な鬼は? モォー 鬼になりきれかなあ(鬼豆)

年明けて、急に高校生の出入りが多くなりました。市民活動センターに「交流の拠点」という“福”を高校が運んでくれるでしょうか?期待しつつ福を待っています。(櫻井貞代)

「福」という字の一番馴染みの言葉は、「幸福」である。自から掴みとっていくものである。(松村 襄)

輝いている笑顔、弾む会話、人とのめぐり会い、そこから活動がひろがるのが”福”かな?(石川美恵子)

「あの手 この手」第24号 発行日・2009年1月15日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>
〒242-0021 大和中央1-5-1

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail: yamato@ar.wakwak.com
URL: http://park23.wakwak.com/~youkoso/